

第5次福井県保健医療計画に定める数値目標の状況

区分	項目	目標数値(平成24年度末)	平成22年度末
がん	がん検診受診率	50%超	26.7% (H21年度)
	5大がんに関する地域連携クリティカルパスを整備	5大がん	5大がん
脳卒中	ガイドラインに基づくt-PA治療が可能な医療機関	各医療圏に1箇所以上	各医療圏に1箇所以上
	地域連携クリティカルパス実施医療機関	10箇所以上	17箇所
急性心筋梗塞	AED取扱いを含む救急蘇生法講習会受講者数(20年度～24年度)	延10万人	延11万6千人
	地域連携クリティカルパス実施医療機関	5箇所以上	8箇所
糖尿病	地域連携クリティカルパス実施医療機関	10箇所以上	3箇所
	糖尿病に関する専門知識を有する医療従事者数	10%以上増	23.7%増
小児医療	#8000子ども医療電話相談事業件数 (18年度相談件数1,471件)	20%以上増	120%増
	時間外に小児輪番制当番病院を受診した入院の必要ない患者の割合	90%以下	92.5%
産科・周産期医療	周産期死亡率	全国10位以内	全国1位
救急医療	救急搬送所要時間	全国10位以内	全国6位
	AED取扱いを含む救急蘇生法講習会受講者数(20年度～24年度)	延10万人	延11万6千人(再掲)
災害時医療	DMATチーム数	8チーム	14チーム
へき地医療	無医地区への巡回診療回数	200回以上	201回
在宅医療	在宅医療推進のためのコーディネーター設置地区	5箇所	6箇所

第5次福井県保健医療計画の取組

	項目	取組事項	平成22年度
			具体的な取り組み内容
医療連携	医療の役割分担と連携	医療機関の役割分担の普及・啓発	○地域連携クリティカルパスの開発と普及 ・がん 胃・大腸がん【平成22年4月から運用】 適用実績:3病院 普及実績:6月20日研修会 肺・乳・肝がん【福井県がん診療連携協議会において、県統一パスとして承認】 ・脳卒中【平成20年1月から運用】 適用実績:5病院 普及実績:7月11日研修会 ・急性心筋梗塞【平成21年4月から運用】 適用実績:8病院 普及実績:8月1日研修会 ・糖尿病【平成21年10月から運用】 適用実績:3病院 普及実績:8月1日研修会
		かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及・啓発	○医療機関の医療機能を県のホームページにて紹介するシステムを運用中 病院 73施設 診療所 596施設 歯科診療所 289施設 助産所 24施設
		医療機関の連携	○医療機関同士が、各医療機関の医療機能情報を共有化するシステムを運用中(各医療機関での入院受入の可能な患者の状態 等)
		医療機関の連携機器整備	○中核病院とかかりつけ医が患者の診療情報を共有できるシステムの構築に向けた検討会の開催および先進事例視察の実施
		施設・設備整備の支援	○がん医療対策の充実のため、福井赤十字病院のがん診療設備整備に支援 ○周産期医療の充実のため、福井大学附属病院のMFICU整備に支援 ○災害時医療の充実のため、公立丹南病院、公立小浜病院、福井赤十字病院、至捷会木村病院、健康会嶋田病院の耐震工事に支援
4疾病と5事業	がん	生活習慣の改善、がん予防意識の普及啓発およびがん検診体制の充実・強化	○がん検診の受診促進 ・市町、JA、商工会による未受診者に対する受診勧奨の実施 ・ショッピングセンター等において「出前がん検診」の実施 ・がん検診推進医の設置 ○がん検診を受ける人の利便性を向上するため、全国で初めて、市町が発行する受診券やがん検診料金を県内で統一し、県民がどこの市町の医療機関でも受けられる体制を整備
		がん医療センターの整備	○胃がんに次いで罹患率の高い大腸がんについて、複数の主治医による「チーム医療」を実施
		陽子線がん治療施設の整備	○3月7日から治療開始(予約患者数17人) ○一般の方々への講演会等の開催(12月末までに103回、6421人が受講) ○県内外の医療関係者への説明会等の開催(12月末までに833人が出席) ○施設の普及に向けた包括的連携に関する協定を25保険会社と締結
		がん診療連携拠点病院の機能強化	○がん診療連携拠点病院(県内5病院)による協議会で検討 ・がん登録の推進、緩和ケア研修、医療連携に関する取組みを協議
		地域がん医療水準の向上	○福井県がん診療連携協議会において肺がん、乳がん、肝がんについて県統一パスとして承認(再掲) ○がんのクリティカルパスの普及に関する研修会の実施(受講人数計:173人)
		医師・看護師等の人材確保・養成	○国立がんセンター等への医療従事者の派遣研修

	項目	取組事項	平成22年度
			具体的な取り組み内容
4疾病 と 5事業	がん	がん登録の向上	○各拠点病院において、がん患者の生存率を把握するため、生存確認調査の方法について検討
		医療情報の提供推進および相談支援体制の整備	○各診療連携拠点病院にて ・セカンドオピニオン受診体制の整備 ・医療実績や専門的にがん診療を行う医師の情報提供実施 ・患者や家族からの相談体制の整備
		緩和医療の推進	○各診療連携拠点病院において医師に対する緩和ケア研修会を実施(単位制に移行)
	脳卒中	早期治療への意識啓発	○福井脳卒中県民講座の開催(2回) ・福井県協ビル8階大ホール(H22.5.30 203人) ・みくに文化未来館(H22.11.23 188人) ○脳卒中相談事業(相談件数:2件)
		救急搬送体制構築	○傷病者の搬送および受入れに関する実施基準の策定(12月1日運用開始) ○各医療圏ごとに設置されているメディカルコントロール協議会において、現状と課題を協議 ○脳卒中医療体制検討部会において、現状と課題を協議
		医療連携の強化	○脳卒中医療体制検討部会において連携パスや保健医療計画の進捗状況等について意見交換を実施 ○脳卒中のクリティカルパスの普及に関する研修会の実施(H22.7.11 受講人数:87人)(再掲)
	急性心筋梗塞	AED普及と救急蘇生法講習強化	○AED普及のための講習会開催 ・県 開催回数:26回 受講人数:1,342人 ・各地区消防 開催回数:912回 受講人数:31,330人 ・日赤福井県支部 開催回数:154回 受講人数:4,843人 計 37,515人
		医療機関の交流促進	○傷病者の搬送および受入れに関する実施基準の策定(12月1日運用開始) ○急性心筋梗塞医療体制検討部会において連携パスや保健医療計画の進捗状況等について意見交換を実施
		医療機関の連携強化	○急性心筋梗塞のクリティカルパスの普及に関する研修会の実施(H22.8.1 受講人数:99人)(再掲)
	糖尿病	発症予防の啓発活動	○世界糖尿病デーにおける普及啓発活動の実施 ・ブルーライトアップin福井2010(H22.11.14 アオッサ1階) 健康相談コーナー、血圧・血糖・HbA1c測定、パネル展示の実施
		医療従事者の専門性強化	○メタボリック健診普及事業 ・実践者ステップアップ研修(参加状況:119人)
		診療所と病院の連携強化	○糖尿病医療体制検討部会において連携パスや保健医療計画の進捗状況等について意見交換を実施 ○糖尿病のクリティカルパスの普及に関する研修会の実施(H22.8.1 受講人数:99人)(再掲)

	項目	取組事項	平成22年度
			具体的な取り組み内容
4疾病 と 5事業	小児医療	小児科医の確保	○総合的な医師確保事業の実施（後掲）
		小児救急医療の情報発信	○「小児医療を考えるシンポジウム」の開催 平成23年2月6日（日） 来場者 330人 ○「福井県子ども急患センター」のポスター、チラシの作成 保育園、小学校等を通じ、県内子育て家庭へ配布
		医療を受ける側の意識啓発	○「小児医療を考えるシンポジウム」の開催（再掲） 平成23年2月6日（日） 来場者 330人 小児科医等による講演および医師、保護者代表、行政等によるパネルディスカッションの実施 子育て・医療関係の情報提供（パネル展示） ○子どもの急病時の対処法を示したパンフレット「こんな時どうする？子どもの急病・ケガ知っておきたい対処法」を作成 保育園、小学校等を通じ、県内子育て家庭に配布 ○小児科医が講師となり、子どもの急病時の対処法についての講習会の開催 県内市町14回 受講者合計446人
		小児医療体制の充実	○「福井県子ども急患センター」の開設に向けた検討 開設：平成23年4月1日（金） 場所：福井市城東4丁目14-30（福井市休日急患センター内） 時間：月～土 19時～23時 / 日・祝 9時～23時 ○傷病者の搬送および受入れに関する実施基準の策定（12月1日運用開始）
	産科・周産期医療	産科医師確保	○総合的な医師確保事業の実施（後掲）
		ハイリスク分娩受入体制の安定的確保	○福井大学附属病院のMFICU整備を支援 ○地域周産期母子医療センターの運営を支援
		妊婦健診受診促進	○健診の原則無料化
		かかりつけ医と周産期母子医療センターの連携継続	○傷病者の搬送および受入れに関する実施基準の策定（12月1日運用開始）
	救急医療	救急と医療の連携	○傷病者の搬送および受入れに関する実施基準の策定（12月1日運用開始） ○県・地域メディカルコントロール協議会で救急搬送事例検討（2月～3月開催）
		救急蘇生法の普及	○AED普及のための講習会開催 ・県 開催回数：26回 受講人数：1,342人 ・各地区消防 開催回数：912回 受講人数：31,330人 ・日赤福井県支部 開催回数：154回 受講人数：4,843人 計 37,515人
		広域災害・救急医療システムの適切な運用	○福井県総合防災訓練（大野市開催）にて、救急搬送先選定に活用

	項目	取組事項	平成22年度
			具体的な取り組み内容
4疾病 と 5事業	災害時医療	DMATによる災害時医療体制充実	<ul style="list-style-type: none"> ○災害派遣医療チーム(DMAT)技能維持研修(中部ブロック)に3医療機関12名が参加(愛知県) ○NBC災害・テロ対策研修にDMAT(1医療機関1チーム)が参加 ○中部ブロックDMAT実働訓練にDMAT(1医療機関1チーム)参加予定 ○福井県合同防災訓練にDMAT(2医療機関2チーム)が参加
		被ばく医療従事者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ○初期被ばく医療従事者の研修会を開催(参加者数41名) ○国の研修事業へ参加
	へき地医療	医師確保の支援	○総合的な医師確保事業の実施(後掲)
		へき地医療従事医師の養成	○県立病院による総合医を養成する研修コースの実施(後掲)
		巡回診療の実施	○無医地区等への巡回診療の実施(診療回数 201回)
		へき地の診療支援	<ul style="list-style-type: none"> ○へき地支援計画の策定・実施 ○無医地区等の巡回診療の実施およびへき地診療所への代診医の派遣
	在宅医療	チームによる在宅医療体制確保	<ul style="list-style-type: none"> ○ふくい在宅あんしんネットのモデル地区を新たに1地区指定(計6地区指定) 坂井地域:坂井地区医師会 若狭地域:社会保険高浜病院 奥越地域:福井社会保険病院 丹南地域:丹生郡医師会、鯖江市医師会、武生医師会 二州地域:市立敦賀病院 福井地域:福井市医師会
		多職種スタッフの連携推進	
在宅医療技術の向上			
在宅医療への意識啓発		○在宅医療体制検討部会および各地域における在宅医療体制推進協議会において、在宅医療の課題、今後の取組み等を検討	